

心臓血管外科ローテーション研修目標

心疾患、大動脈、末梢動静脈の外科的治療法を必要とする疾患を鑑別診断し、速やかに手術適応を決定し実施する能力を身につける

経験すべき病態・疾患・検査・治療

1、疾患を鑑別診断し速やかな治療法を理解するために
解剖（胸郭・心臓大血管・縦隔）について説明できる
心臓の生理について説明できる

2、病態・疾患を経験し速やかに心臓外科的治療を実施できるように
狭心症・心筋梗塞の診断ができる
弁膜症（僧帽弁、大動脈弁）の診断ができる
動脈疾患（真性動脈瘤、解離性動脈瘤）の診断ができる
末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症）静脈疾患（静脈瘤、深部静脈血栓）の診断ができる

3、診断確定後に手術治療の実施に参加できるように
手術適応の検討と手術術式の決定に参加できる
術前合併症の検索と対策がたてられる
体外循環の生理について述べ手術の実施に参加できる
体外循環の実際：大動脈送血、上下大静脈脱血、人工心肺回路の構成、心筋保護液注入による心停止
術後管理について述べ実施に参加できる
循環呼吸管理

A) 動脈圧・スワンガンツカテーテルによる肺動脈圧・肺動脈楔入圧・右房圧・心拍出量を測定できる

B) 心電図モニターの判読ができる

C) SvO₂ 測定と判読ができる

D) 尿量測定と判断ができる

E) 人工呼吸器設定と気道内圧について判断ができる

F) 血液ガスの測定と判断ができる、

G) レントゲン所見の読影ができる

H) ドレーンの管理ができる

胸腔・縦隔内ドレーンの管理：低圧持続吸引による出血量のチェックができ・ミルクングの意義と方法をせつめいできる

I) 体液の管理ができる

輸液と利尿の関係とサードスペースへの体液の移動と血管内へ戻るタイミングがわかる

J) 循環作動薬の作用機序と使用法を説明し実施できる

カテコールアミン（ドーパミン・ドブタミン・ノルアドレナリン）、PDE 阻害剤、血管拡張剤（ジルチアゼム・シグマート・ニトログリセリン・ISDN）

K) 抗不整脈薬の使用法を説明し実施できる

L) 清潔手術・不潔手術について説明しと抗生物質の使用が実施できる

M) 術後合併症に対する処置に参加できる

救急処置の必要性を判断し実施に参加できる

- A) 中心静脈ラインの挿入ができる
- B) 胸腔ドレーンの挿入・胸腔穿刺に参加できる
- C) 電氣的除細動が実施できる